

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	滋賀県水産試験場			代表者名	酒井明久
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	生物資源係	連絡先電話番号	0749-28-1611
担当者役職	専門員	担当者氏名	臼杵崇広	連絡先E-mail	
住所	522-0057 滋賀県彦根市八坂町2138-3				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	具体的課題への支援	事業名	「滋賀の水産業強化プラン」推進研究		
概要	定置網に廉価な魚群探知機、通信機器等を設置して魚群の信号を漁業者に送信し、出漁の判断を行うことにより無駄な出漁を回避し、漁業の効率化を図るシステムの構築について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	農林水産業				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無	265K			
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年2月19日	支援・助言(実地)	8時30分	15時00分	180
			活動時間（分）	210	
2-2. 派遣場所	会場名	水産試験場、滋賀びわ湖漁業協同組合 中支所		最寄駅	南彦根駅
	所在地	彦根市八坂町2138-3、野洲市吉川1645-5		最寄駅からの交通手段	送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	和田 雅昭
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	現場ニーズに合わせて必要とされるシステム構築について丁寧に指導・助言をしていただいた。また、漁業者、職員に対して他県の事例を交えて漁業者間の情報共有による魚価の安定化や流通業者への情報提供による仕入れの効率化について情報提供をしていただき、水産業のスマート化に対する意識向上を図っていただいた。
アドバイザーへの要望事項	滋賀県における水産業のスマート化の推進に向けて、引き続き支援をお願いしたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	6人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	5		1	

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的に記入下さい）	琵琶湖漁業では、現役漁業者の6割が65歳以上になり、高齢化による漁業者の減少は避けられない現状にあり、漁業の効率化が求められている。このため、漁業操業への同行等により既存漁法の課題や漁業の効率化、新規漁法に対する現場ニーズの把握に努めている。そのような中、魚探信号の送信による定置網漁業の効率化が対策の一つとして上がったが、我々の技術では効率化を実現するシステムの構築は困難な状況にある。
支援により目指す成果（具体的に記入下さい）	魚群探知機、通信機器等を設置して魚群の信号を陸上の漁業者に送信し、出漁の判断を行うことにより無駄な出漁を回避し、漁業の効率化を図ることが可能かを検証するため、実証試験を行い、現場のニーズに合ったシステムの構築を目指す。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	アドバイザーの派遣日が荒天であり、魚群探知機、通信機器の設置ができなかったため実証試験はできなかったが、試験に向けた事前準備と動作確認の支援を受けた。天候が回復した2月20日にそれらの機器を設置し、実証試験を開始した。現在データを収集中。 また、漁業者、職員に対して他県の事例を交えて漁業者間の情報共有による魚価の安定化や流通業者への情報提供による仕入れの効率化について情報提供をしていただき、水産業界のスマート化に対する意見交換を行う機会を作っていただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	派遣期間中に実証試験はできなかったが、魚群探知機、通信機器等が一体化したシステムが試作され、事前準備や動作確認までは行えたことから、効率化を実現するシステム構築に向けて大きく前進したと考えられる。 他県の事例も交えた漁業者との意見交換を通じて、漁業者の中で今後必要とされる漁業者間や流通業者との情報共有のあり方を整理する機会となり、同時に組織改編等の必要性など課題の洗い出しにもつながった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	荒天のため実証試験がアドバイザー派遣日以降となったため、データの解析や今後の方向性等については今後アドバイザーから指導・助言を受けられる予定である。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定
4-4. 事業の最終的な目指す姿	データ解析まで至っていないため、たちまち予算化は難しい状況。今後はアドバイザーからデータの解析や今後の方向性等について指導・助言を受けられる予定。さらに、対象魚であるアユが成長した時期にも当該制度によりアドバイザーに来ていただいて、実証試験を行い指導・助言を受けたい。 定置網に廉価な魚群探知機、通信機器等を設置して魚群の信号を漁業者に送信し、出漁の判断を行うことにより無駄な出漁を回避し、漁業の効率化を図るシステムが構築され、費用対効果の判断により導入が有効と判断した漁業者の導入が始まっている。これにより、漁業操業の効率化だけでなく、出漁回避の事前連絡により流通業者の仕入れの効率化にもつながり、水産関係者の無駄を省くことが可能となる。さらには、地域住民や観光客等が新鮮な湖魚を適正な価格で食べられる機会が増加し、滋養の食文化の継承につながる。	

5. 報告書についての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可 https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

